

(様式2) 本計画書は情報公開法による開示の対象です。計画の審査に必要な情報で、真に開示できない部分については、本様式では伏せ字とし、別紙様式4により開示できない理由・期間とともに記入の上、本計画書に添付して下さい。

動物実験計画書

金沢大学長 殿

平成 年 月 日提出 ※再提出時は日付を更新すること 委員会
記入欄 月 日受付 第 号 □次頁

実験責任者名	部局	職名	
研究室名	実験者人数	名	不開示情報 計画書の提出 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
計画区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 修正 承認番号 AP-	動物種	実験期間 年
実験課題			
実験目的 (研究の背景・意義, 予想される成果等を明確に記載)			
代替法検討結果 <input type="checkbox"/> 検討したが代替手段が見つからなかった。 <input type="checkbox"/> 代替手段の精度が不十分であった。 <input type="checkbox"/> その他 ()			
動物実験の分類		<input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 試験・検定 <input type="checkbox"/> 教育/学生実習	(繁殖用の種 動物を除く) 計画総匹数
動物の系統名と 入手方法		入手時の微生物学的品質	
動物に投与する 薬物と生物材料		生物材料が感染事故 の原因となる危険性	<input type="checkbox"/> 無(検疫済等) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 不詳
疼痛緩和措置		安楽死 処置法	
特殊実験の区分 <input type="checkbox"/> 該当無 遺伝子組換え実験 (<input type="checkbox"/> P1A, <input type="checkbox"/> P2A, <input type="checkbox"/> P3A), 感染実験 (<input type="checkbox"/> ABSL-1, <input type="checkbox"/> ABSL-2), <input type="checkbox"/> ヒト材料使用, <input type="checkbox"/> 麻薬・覚醒剤の使用, <input type="checkbox"/> 有害物質の投与, <input type="checkbox"/> 放射性同位元素の使用, <input type="checkbox"/> X線照射/撮影			
痛みのカテゴリ 自己判定 (I~IV)	特殊実験の 手続状況		
実験内容 (処置内容, 実験のエンドポイント, 使用材料, 実験群設定, 匹数算出根拠を具体的に記載すること。)			

動物実験計画の適否: <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 不適 (不開示申請適否: <input type="checkbox"/> 適 (平成 年 月 日迄) <input type="checkbox"/> 不適)
追加条件等:
審査終了日: 平成 年 月 日 委員会審査番号 第 号

(補足説明) 真にやむを得ず補足説明が必要な場合は、以下に記述すること。

枠線拡張可・文字サイズ最小 9pt